



さわやかあいさつは南っ子の自慢

毎朝校門の近くで子供たちを迎えます。4月ごろに比べて、この頃少し、あいさつの声が多くなってきました。コロナ対策でマスクはしていますが、大きな声ではなくても、目を見て笑顔で、「おはようございます」の声がたくさん聞けるようになりました。毎日とても気持ちの良い朝のスタートができています。

特にあいさつが良くできているのは、5、6年生の通学班リーダーのあいさつがしっかりできている班の子供たちです。上級生の素敵姿を見て、下級生も自然にまねをしているのですね。また、ふれあい本部やあいさつ委員会の皆さんの毎日のあいさつ活動も大きな効果があります。「南っ子」の心が、あいさつでつながってきていることを感じます。

6月下旬には2回ほど学府のあいさつ運動があり、南部中学校の2、3年生の代表が、朝校門付近であいさつをしました。中学生の姿にちょっと驚いたようでしたが、お兄さん、お姉さんからあいさつをもらってうれしそうでした。みなみが野学府でもあいさつはとても大切にしています。

南っ子の皆さん、あいさつができることに自信をもってください。あいさつが自分からできることは、何歳になっても、どこへ行っても、きっと皆さんを輝かせ、仲間とつながるチャンスを作ってくれます。これからもあいさつを南っ子の自慢にしていけるようにしましょう。



みなみが野学府あいさつ運動 6/22(水)